

科目名	造園技術 2						年度	2026	
英語科目名	Landscape gardening technology 2						学期	前期	
学科・学年	土木・造園科 2年次	必/選	選5	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	眞家道博	教員の実務経験		有	実務経験の職種		施工管理		
【科目の目的】 造園技術 2 では、造園の施工管理や手法、法規に関する知識を学び、現代の造園分野が抱える課題に対して解決策を考える力を養います。									
【科目の概要】 造園の施工管理、施工方法、関連法規等について学びます。									
【到達目標】 造園技術 2 では、次の3点を到達目標とする。 ①造園計画・施工・管理運営の特性を理解する。 ②造園計画・施工・管理運営のプロセスを理解する。 ③現代の造園が抱える課題に対し解決への道筋を見つけるための基本的な知識や考え方を理解する。									
【授業の注意点】 自ら問題意識を持ち、課題解決に向けて具体的に考えることを求める。理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず欠席した場合は、自ら申し出て、授業内容を確認し、取り返す努力をすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	造園計画の特性を深く理解し、効果的な提案ができる	造園計画の特性を理解し、実践的なアイデアが出せる	造園計画の特性を理解している	造園計画の特性について基本的な理解がある	造園計画の特性を理解するのに課題がある				
到達目標 B	施工管理の全プロセスを的確に把握し、現場での応用力がある	施工管理のプロセスを理解し、実践的に対応できる	施工管理のプロセスを理解している	施工管理の基本プロセスを理解している	施工管理のプロセス理解に課題がある				
到達目標 C	法規とその応用を的確に理解し、現場での適用力が高い	法規に基づいた適切な施工を行う知識がある	基本的な法規を理解し、施工に活かせる	法規の基本的な知識を持っている	法規の理解に課題がある				
到達目標 D	現代の造園課題に対し、具体的な解決策を提案できる	現代の造園課題に対する理解が深く、応用力がある	現代の造園課題について基本的な理解がある	課題の概要を理解し始めている	現代の造園課題に関する理解が浅い				
到達目標 E	知識を基に独自の考え方で問題解決に取り組むことができる	問題解決に必要な基礎知識を応用できる	基礎知識を用いて問題解決に向けて考えられる	問題解決の基礎を学び始めている	問題解決に関する基礎理解が不足している				
【教科書】 造園施工必携日本造園組合連合会									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 授業への取り組み、課題、期末試験等を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

